

長岡工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	英語多読
科目基礎情報				
科目番号	0070	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	英語多読記録帳			
担当教員	市村 勝己, 土田 泰子			
到達目標				
(科目コード: M 10670、EE 20670、EC 30670、Mb 40670、Ci 50670 英語名: Extensive Reading)				
この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。				
①英文の内容を大まかに理解することができる。40%(b3) ②読書の内容について記録し、定期的に提出する。40%(b2) ③英文の内容をブックレビューとして紹介する。12%(b3) ④文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるような音読ができる。8%(b3)				
ルーブリック				
内容理解	理想的な到達レベルの目安 英文の内容を詳細に理解することができる	標準的な到達レベルの目安 英文の内容を理解することができます	最低限の到達レベルの目安 英文の内容を大まかに理解することができます	未到達レベルの目安 英文の内容を理解することができない
記録帳提出	読書の内容について詳細に記録し、定期的に提出することができる	読書の内容について記録し、定期的に提出することができます	読書の内容について記録し、おおむね定期的に提出することができます	読書の内容について記録し、定期的に提出することができない
ブックレビュー	英文の内容をブックレビューとしてわかりやすく紹介することができます	英文の内容をブックレビューとして紹介することができます	文の内容がおおむね伝わるようなブックレビューとして紹介することができます	英文の内容をブックレビューとして紹介することができない
音読	文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるような音読ができる	文章の内容が聞き手に伝わるような音読ができる	文章の内容がおおむね聞き手に伝わるような音読ができる	文章の内容が聞き手に伝わるような音読できない
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	英語多読は英文を和訳せず、英語のまま理解するための読書法である。やさしい英文で書かれた短い英語の本から読み始め、多くの本を読むことで、英文に慣れ、英文を読む速度を伸ばし、語彙と表現そして欧米文化に関する知識を広げることを目指す。また、読書記録をつけることで達成度を確認する。 ○関連する科目: 英語IIIA (今年度履修), 英語IIIB (今年度履修), 英語多読 (前年度履修)			
授業の進め方・方法	各自で目標を設定し、積極的に授業に参加すること。英語多読記録帳は定期的に提出し、担当者のチェックを受けること。音声も意識しながら英文を読むこと。			
注意点	教科書は使用しません。英語多読記録帳を使用。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction & Guidance: 英語多読とは	
		2週	英語多読	
		3週	英語多読	
		4週	英語多読	
		5週	英語多読	
		6週	英語多読	
		7週	英語多読	
		8週	英語多読	
後期	2ndQ	9週	英語多読	
		10週	英語多読、音読テスト	
		11週	英語多読	
		12週	英語多読	
		13週	英語多読	
		14週	英語多読	
		15週	英語多読	
		16週	英語多読、読解テスト	
後期	3rdQ	1週	英語多読	
		2週	英語多読	
		3週	英語多読	
		4週	英語多読	
		5週	英語多読	
		6週	英語多読	
		7週	英語多読	
		8週	英語多読	
4thQ		9週	英語多読	
		10週	英語多読、音読テスト	
		11週	英語多読	

	12週	英語多読	青～緑レベル, 月20冊, 総語数15,000語
	13週	英語多読	青～緑レベル, 月20冊, 総語数15,000語
	14週	英語多読	青～緑レベル, 月20冊, 総語数15,000語
	15週	英語多読	リーディングスピード毎分150語
	16週	英語多読, 読解テスト	青～緑レベル, 月20冊, 総語数15,000語

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前11,前12,前13,前14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	60	60
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	40	40